



学校評価アンケート結果の分析・考察その5

< 保護者からの自由記述 >

学校評価特集号も今回で最終号、教育目標「自律・協働・挑戦・創造」の4観点からの学校の取組と生徒の姿に対する評価について、設問ごと、また関連する自由記述を取り上げて分析・考察を掲載してきました。この学校評価結果の共有により、これまで以上に「教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなが育てる学校」にしたいと考えます。

各設問との関連では触れることができなかった自由記述について、まずはこんな生徒にしたいというご意見から。

- 今の子どもたちは、町内3小学校からのクラスで成り立っていますが、どちらかと言うと、他の市内の中学校よりも人数も少ないので、競争力に欠ける面があると思うので、地域を愛する心を持ちながら、広い視野を持って色々なことに挑戦してほしいです。(1年)
- 何かトラブルがあった時に、自分たちで解決しようと努力することが必要だと思います。(2年)

来年4月に3つの小学校が一つになり、多くの学年が1学級で編制されるようです。また今後、小学校に入学する幼児数を見ても、2学級編制となる学年はあまりないようです。本校では、優しく素直、真面目で思いやりがある生徒が



とても多く、逆に言えば、ご意見のとおり、人を押しつけてでも一番を取るか、絶対に負けないといった競争心は強いとは言えないかもしれません。本校で2年前に教育目標を刷新した際に「挑戦」を取り上げたのも、実はそうした生徒の実態を踏まえたものでした。これは、中学校の3年間だけで容易に解決が図られるものではありません

ん。部活動やスポーツテスト等で自分の限界を越えることから、また学習コンテストで満点賞を取ることを目指す取組等、学校のあらゆる場面で強さ・たくましさ・負けん気を身につけてさせていきたいと思えます。

また、自力解決の力についても、少子化の今、昔よりも大人の目が行き届きすぎるのか過干渉や子どものトラブルへの介入の度合いが多いように思えます。

「自分たちのことは自分たちで」「自分のことは自分で決める」という取組がもっと必要だと考えます。(個人的には、制服や校則・髪型等、一切学校が干渉せず、本人・家庭に任せたいと思っています。いまやIT企業をはじめとして銀行等でもスーツを着ない会社・企業が増えてきています。時と場に応じた服装も、これまで通り「スーツや制服さえ着ていれば・・・」は通用しない社会が目の前に来ていると考えます。) 自分たちは自分で決められる人間を育てることが、自分たちで解決する力につながるものと考えます。

次のご意見は、学級編制についてです。

- 2年生は一人転校生が来て人数も増えたので、2クラスにはならないのですか？コロナでソーシャルしなさいと言ってるのにできないと思います。(2年)
- おっしゃる通りです。十分なソーシャルできません。感染リスクの高い給食だけは、二つの教室で半分的人数でソーシャルしながら前だけ向いて食べています。他の授業は34人になったのですが、指導する先生が増員されないので1学級のままです。

実は、学級の人数は国の法律で1学級40人が最大人数と決められています。ですから41人いれば20人と21人の2学級となるのが国の決まりです。

ですが福島県では県のお金で教員を増員し中学1年は30人、中学2・3年は33人(福島市)を1学級の最大人数としています。ですから、他県であれば、本校はどの学年も1学級編制となっているのが本校の生徒数の現状です。

また、学級編制は学級数確定の基準日で決定し、基準日を過ぎると、その後何人生徒が増えても減っても1年間はそのままの学級数で、教員も増減なしのまま1年間維持するのが全国どこでも、同じ法律の下での決まりとなっています。

本校2年生は33人で今年度4月の基準日を迎えました。(ちなみに基準日は入学式前日。今年は入学式が月曜だったのでその前の金曜でした。) その結果、本校は1年2学級、2年1学級、3年2学級、特別支援1学級という学級数が決まり、教員の配置も決定しました。その後、11月に1人転入があり34名と

なりましたが、法律に沿って今年度はそのまま 1 学級での編制となります。この学級編制には、いかんともしがたい法律の壁があることをご理解ください。

3 つ目は、この学校評価についてです。

● 今年度の評価はコロナ禍の中での活動ですので、例年とは違います。また、「飯野中の生徒」と「わが子」を置き換えるのは評価が間違いなく変わります。学校評価は、教育再生の旗の下で、法律に新たに位置づけられた学校の義務の一つです。生徒評価、保護者評価、地域からの評価、そして自己評価により、絶えず学校教育の改善を図ることが義務付けられていますので、こうしたアンケート形式で毎年、学校評価を実施しています。改善状況等を見るため、昨年度までとの比較・検討が必要なので、本校では教育目標を変えた昨年度からこの形式で継続して取り組んでいます。そのため、コロナ対応等を前面に出してしまうと、経年変化が見えなくなりますので、昨年度と同様の内容としています。

「わが子」と「生徒」の違いについては、ご意見の通り「飯野中の生徒」の方がより客観的な評価になると考えます。次年度以降は、より適正な評価となるよう検討していきたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

その他、紹介します。

- 松桜祭のネット配信はよかったのですが、係の人の声が入っていて聞きづらかったです。(3年)
- 教科書類(カバン)が重すぎる。(2年)
- ワーク(課題)が多い。(2年)



ネット配信については、PTA 会員に詳しい方がおり、ボランティアで、ご自身の機材等を使ってご協力いただけるということで、PTA 会長さんを中心とした保護者の皆様のご好意に甘えて実現しました。すべてお任せ状態で、また初めての取組ということで、学校としては感謝しかありません。もし、コロナ禍が今後も続けば次年度も・・・ということになるかどうかはわかりませんが、現状の下で感染リスクを背負いつつ無償で取組んでいただいたことに心より感謝申し上げます。ボランティアの保護者の皆様、本当にありがとうございました。

カバンの重さについては、昨年度も出され、生徒会も協力して調査・報告しました。小学校に比べれば、各教科書の厚みやファイル等が多く重いのは確かです。ですから、各教科で学校に置いていっていいものを指示し、ロッカーに置い

ている生徒もいます。その一方、忘れ物がないよう、あるいは家庭で学習するためにすべて持ち歩く生徒もいるようです。5 教科全部の授業のある日などは特に重さが増すと思いますが、週の各教科時数は全国一律で決まっていますので、本校だけが多いということもないと思います。今後、タブレット配置が一人一台となりますが、Wi-Fi 環境がなかったり、利用制限がある家庭もあります。また、デジタル教科書は紙の教科書とは違って有償ですので、すべての学年・教科に配備されるわけではありません。タブレットが配置されても、しばらくは紙の教科書を使うことになると思います。ご理解ください。

ワークの量については、各教科の 1 年間の学習内容は全国一律で、本校のワーク冊数も本校が特に多いということはありません。進度に応じて「■ページまでを●日までに」という指示で、一定の期間内でこなせるように指導しています。ほとんどの生徒が計画的に取組み提出しています。コロナによる臨時休業の影響もあり、多く感じるかもしれませんが、よろしく願います。

最後に、コロナ関連のものを載せます。

- 修学旅行や文化祭、コロナのため、今までと違った形でしたが、その中でもおたよりや HP を利用し、様子を知らせてもらいとても感謝です。(3年)
 - コロナの中、感染対策に配慮しながらの運営ありがとうございました。(3年)
 - 今年度はコロナ感染予防のため、いつもどおりとは行きませんが、その中でできることを子どもたち自身が考え、前に進むことを続けてほしいと思います。(3年)
 - 修学旅行や文化祭、コロナのため、今までと違った形でしたが、その中でもおたよりや HP を利用し、様子を知らせてもらいとても感謝です。(3年)
 - コロナの中、感染対策に配慮しながらの運営ありがとうございました。(3年)
- 学校評価への数多くの貴重なご意見、ありがとうございました。学校としても、こうした保護者の皆様からの思いのこもったご意見をいただくと、もっとがんばっていこうと素直に、とても嬉しく思います。様々な評価やご意見を真摯に受け止め、今後も、チーム飯野中一丸となって、よりよい学校づくりに取り組んでまいります。

保護者の皆様には、今後も学校と一体感を持ち一緒に生徒を見守り育てるという意識でお子さんと向き合ってください。早寝・早起き・朝ごはんの徹底と、今年度残り 4 ヶ月の教育活動への積極的なご協力をお願いします。